



NEWS LETTER

名古屋 YWCA 国際交流会
2016年6月

紫陽花の花が雨に濡れて美しさを増す今日この頃です。新年度に入ってから
の活動報告とこれからの予定をお知らせします。

例会報告

4月18日(月) 13:30~

協議事項:

- ① YWCA の目的、基本方針、具体的計画、組織などの確認
- ② 日本語学校の年間行事について
- ③ 国際交流会の年間計画について
- ④ これからの日本語サロンについて

名古屋大学関連

春の登録

4月4日~6日 Nupace 留学生100名、短期留学生20名
手伝い人10名(延べ)

NUFSA バザー

4月7日 電話当番6名

4月9日 当日手伝い3名(参加留学生170名、純益20万円)

みなさま、お疲れさまでした

外国人が話す日本語サロン

前回

5月21日(土)

『ムーミンとサンタクロースが住む森と湖の国
フィンランド』

ゲスト: リエボネン マリユット さん

参加者: 27名



次回

7月9日(土) 10:30~12:00

『あまり知られていないミャンマー』

ゲスト: アウン コミン さん(元名古屋 YWCA 日本語学校学生)

詳細はチラシをご覧ください

次々回

9月から10月くらいに日本語学校学生のオーストラリア人女性にお話して
いただく予定です

おしゃべり広場

常連さんはフィリピン人のシスターの卯さんとベトナムの2児のお母さん、お弁
当持参のオーストラリアの女性などです。毎回いろいろな話で盛り上がっています

おしゃべり広場外伝

5月 9日 イタリア人のサルヴァトーレさんとおしゃべり
広場の見学者のバイオリニストが意気投合してミ
ニミニジョイントコンサートを開いてくださいま
した。とても素晴らしいひとときでした。



5月23日



ベトナム人のマンさんが揚げ春巻きを教えて
くださいました。具たくさん美味しい春巻
きでした。7名参加。

5月26日 以前韓国料理を教えてくださいましたカンさんのお宅に招かれました。4人が参加。料理が得意というカンさんがご自慢の腕を振るってくださいました。お腹いっぱい！ごちそうさまでした。



これからも楽しいことをたくさんやりたいと思います
是非、ご参加ください

日本語学校行事

スピーチコンテスト

日時：7月15日（金） 9:15～



次回例会

未定

昨年度までは日本語サロンの後に行っていましたが、今年度は代表者がお仕事のため、月曜日のおしゃべり広場の後になります。

今回はまだ決まっていないので、決まり次第お知らせします。

ベトナム風あげ春巻き

材料

豚ミンチ	500g	レモン	1個
玉ねぎ	1個	ナンプラー	少々
人参	1本	鷹の爪	1本
万能ねぎ	1束	ニンニク	1片
もやし	1袋	砂糖	少々
きくらげ	100g	水	
春雨	3個		
しいたけ	適宜	生春巻きの皮	30枚くらい
卵	5個	レタス	適宜
塩、コショウ	少々	サラダ油	適宜

作り方

- ① 玉ねぎ、戻したきくらげはみじん切り、人参、しいたけは短い千切り、戻した春雨は2~3cm、ねぎは小口切りにする
- ② 左側の材料を全部ボウルに入れてよく混ぜる
- ③ 生春巻きの皮の片方を水でさっと濡らし、濡らした方を巾着にして材料を入れて巻く
- ④ フライパンの底から1cmくらいの油で（低めの温度）常に返しながらかき混ぜながら中までしっかりと火をとおす
- ⑤ ニンニクはみじん切り、鷹の爪は薄い輪切りにして、絞ったレモン、ナンプラー、砂糖、水を加えてたれを作る
- ⑥ レタスの上に4~5個に切った春巻きを載せて完成！ レタスに巻いて食べるととてもおいしいです。



外国人が話す日本語サロン

「ムーミンとサンタクロースが住む森と湖の国 フィンランド」

ゲスト：リエボネン マリュットさん（名古屋大学 経済研究科）

2016年5月20日 10時半～12時

「Hyvaa Paivaa！」 ヒューヴァー バイヴァー こんにちは！

マリユットさんは 2012年9月、大分県にある「APU 立命館太平洋大学」に半年留学し、翌年英国でインターンシップ研修を半年、そして帰国して大学を卒業し、2014年9月に名古屋大学に入られました。正式に日本語を習ったことはないそうですがその流ちょうな日本語にまず私たちはびっくりしました！

国の形は南北に長くその形は女性の姿のようで「フィンランドのお姉さん」といわれています。フィンランドの国旗は 白地に青い十字。白は雪、明るい太陽を、青は青空、青い湖を表わしているそうです。ルター系のキリスト教だそうです。

フィンランドの自然と教育について話されました

国土は日本とほぼ同じ広さで、国土の一割は湖。高い山もなく森の国です。人口はなんと 530 万人。公用語はフィンランド語とスウェーデン語。1917年12月6日独立国となりました。四季があり夏は 27° を超すと高温危険注意の報道がされるそうです。氷の中でも泳ぐお国柄なので、どんなに寒くても寒いのは問題ないそうです。学校での休み時間は必ず戸外で過ごすという子どもの時からの習慣が寒さに強い体質をつくっているのでしょう。オーロラと白夜。ムーミンにシベリウスが有名です。もちろんサンタクロースはフィンランド！と強調されましたが・・・？

学校は小学校（6年）、中学校（3年）、高等学校（3年）、もしくは専門高等学校（3年）そして大学校があります。教育は無料です。高校まではランチも無料です。小学校入学は6歳前後に各自で決めます。小学3年生から英語を、5年生から仏、独、露を選択します。中一からはスウェーデン語を学びます。学校に部活はありません。塾もありません。PTA もないそうです。高い学力はどこからうまれるのでしょうか？ 大学入学は全国共通1回の試験で決まるそうです。

社会保障が充実していて教育も病院もほぼ無料なのは税金が高いからです。貧富の差も小さく、多くの人の給料の 26～44%が税金です。消費税は雑誌、薬は 10%、食物 14%、酒、服、PCなどは 24%だそうです。北の地方の人はトナカイを、南の人は鹿を、クリスマスには豚を食べるそうです。1906年から男女平等です。

日本に関心を持ったきっかけは 宮崎駿の「千と千尋の神隠し」の不思議な世界をみて日本に興味を持ったそうです。今は現実の日本社会、妖怪などに興味があるそうです。フィンランド語と日本語は 音が似ていて、日本語のアホ＝フィンランド語の畑の意味 アセ＝銃 閣下カッカ＝うんこ

日本に一番近いヨーロッパの国、10時間で行けるフィンランドです。ムーミンとサンタクロースがいる湖沼の多い静かな落ち着いた国のような感じです。 近隣の国はどんな感じかとの質問に お隣のスウェーデンはお兄さんのような感じ、ノルウェーは魚好きの国と答えられましたが、ロシアはどんな感じなのでしょう。まだまだ興味はつきませんでした。